

# 個性的 看板デザイン案

## 北大サークル×津別高生 町に最終報告

【津別】北大と北大公共政策大学院の学生でつくるサークル「HALCC（ハルク）」は、津別高の生徒らと検討してきた、町内の道路案内や施設名などの看板リニューアルに関する「最終成果報告書」を佐藤多一町長に提出した。昨年から計5回のワークショップを経てまとめた。町は来年度以降、報告書を基に看板を更新していく意向だ。

町内では複合施設を町中心部につくる「まちなか再生基本計画」による施設再編が進行中。その中で、施設の案内板や道路標示などに「津別への愛着が感じられるもの」と、佐藤町長がハルクと津別高に新たな看板デザインを依頼した。

ハルクなどは昨年9月からワークショップを開催。町内各所を現地調査した。町内では複合施設を町中心部につくる「まちなか再生基本計画」による施設再編が進行中。その中で、施設の案内板や道路標示などに「津別への愛着が感じられるもの」と、佐藤町長がハルクと津別高に新たな看板デザインを依頼した。



町道沿いに設置する、シカ注意喚起の看板デザイン案

「きもかわいい」シカインパクト追求

得意分野生かし一つの形に

ーのデザインを提案することとし、7月18日にハルクメンバーらが町役場を訪れ、佐藤町長に報告書を手渡した。各デザイン案は「これぞ個性」(佐藤町長)と評価された。佐藤町長は「『きもかわいい』という個性を生かし、一つの形に追求したい」とお礼を述べた。松田代表は一連の作業を終え「メンバーと高校生たちがそれぞれの得意分野を生かし、一つの形になったと思う」と話している。(青山秀行)



津別高生2人と一緒に最終報告書を佐藤多一町長(左端)に提出した、ハルクの松田涼花代表(左から2人目)

共経営コース2年IIは「かわいいと気持ち悪いを合わせた『きもかわいい』シカにした」とインパクトを追求したと強調する。キャンプ場の看板では、通常の注意呼びかけ文にはせず「生物の中にはわがままなやつらがいます。環境の変化に敏感なので良い環境を保つようにしましょう」とあえて斜に構えた文言として、利用者に伝わることを重視している。

佐藤町長は「そういう視点があるのか、という思い。今後看板設置にかかる予算化を経た上で、このデザイン案を生かしていく」とお礼を述べた。松田代表は一連の作業を終え「メンバーと高校生たちがそれぞれの得意分野を生かし、一つの形になったと思う」と話している。(青山秀行)